目　　次

はしがき　*v*

第 1 章　構文とは解釈の公式なり …… *1*

0.　はじめに　*2*
1.　関数から公式へ　*2*
1.1.　意味関数としての動詞　*2*
1.2.　結果表現　*5*
1.3.　解釈の公式　*8*
1.4.　公式＝構文　*10*
2.　構文分析がうまくいく現象　*12*
2.1.　二重目的語，way 表現　*12*
2.2.　その他の構文イディオム　*16*
2.3.　keep -ing vs. keep X from -ing　*21*

第 2 章　さまざまな結果表現 …… *25*

1.　公式に合わない結果表現　*26*
1.1.　もう一つの結果表現　*26*
1.2.　同時進行する状態変化　*30*
1.3.　Washio（1997）の 3 分類は必要か？　*33*
2.　open/shut 表現　*41*
2.1.「開く」とは？　*41*
2.2.　形容詞が主役　*45*

第 3 章　「公式」だけでは説明できないこと　その 1 …… *51*

0.　はじめに　*52*
1.　どのような結果状態が許されるのか？　*52*
1.1.　公式では許されてしまう結果表現　*52*
1.2.　「風が吹けば桶屋がもうかる」はダメ　*55*
2.　wipe — wet はなぜ不可か？　*59*
2.1.　形容詞の性質か？　*59*
2.2.　動詞の性質　*62*
2.3.　clean/dry vs. wet/dirty　*65*
2.4.　wipe — wet が可能になる時　*67*

第 4 章　「公式」だけでは説明できないこと　その 2 …… *75*

1.　二重目的語表現　*76*
1.1.　さまざまなクラスの二重目的語表現　*76*
1.2.　否定を含む二重目的語表現　*80*
2.　refuse タイプ　*83*
2.1.　allow との類似性　*83*
2.2.　refuse　*86*
2.3.　deny　*88*
2.4.　forbid　*90*
2.5.　disallow と prevent　*93*
3.　save タイプ　*95*
3.1.　なぜ「持たない」になるのか？　*95*
3.2.　save　*97*
3.3.　spare　*101*
3.4.　まとめ　*103*

第 5 章　「公式」だけでは説明できないこと　その 3 …… *107*

1.　「公式」のもう一つの利点　*108*
1.1.　所格交替　*108*

1.2.　再び「公式」の出番　*114*
1.3.　二つの公式とは何？　*117*
2.　「状態変化」でなく「覆う」　*119*
2.1.　spray の所格交替　*119*
2.2.　その他の交替する動詞　*122*
2.3.　三つの公式　*125*
2.4.　日本語の所格交替　*127*
2.5.　まとめ　*129*
3.　ただし動詞だけでは決まらない　*130*

第 6 章　「公式」では説明できないこと …… *135*

1.　疑問文とエコー疑問文　*136*
1.1.　文タイプ　*136*
1.2.　エコー疑問文　*138*
2.　「括弧」の文法　*143*
2.1.　誰のことば？　*143*
2.2.　二つのレベル　*145*
2.3.　メタ表示　*147*
3.　メタ表示で分析できるその他の現象　*157*
3.1.　メタ言語否定　*157*
3.2.　条件文　*160*
4.　まとめ　*161*

あとがき …… *163*

参考文献 …… *167*

索　　引 …… *173*